

令和7年度 施設実態調査

この調査は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の事業活動の参考とするために、またこの調査結果が、日臨技にとって今後の活動に有効に活用できるものとなるように、部署責任者の考え方やご意見をお聞きするものです。率直なご意見をお聞かせください。

なお、この調査は検査部門の実態を把握するための調査であり、この目的以外には使用いたしません。また、個人情報保護の観点から、個人名が外部に漏れることはありません。

以下の【A】～【D】は施設情報を自動表示します。表示された内容を確認し、そのまま進むか、または正しい内容に変更できます。ただし、内容を変更してもデータベースの施設情報は変わりません。施設情報と回答に違いがある場合は、「調査回答が施設情報と異なります。日臨技事務局へ施設情報変更申請をおこなって下さい。」というメッセージと「施設登録用紙（PDF）へのリンク」が表示されますので、必要に応じて変更申請をお願いいたします。

設問数は38問で、およそ20分程度で終わります。また、途中でいったん中止しても、回答された内容は保存され、再度ログインすることで続けてご回答いただけます。基本的にスマートフォンでのご回答もできます。なお、実際に回答されるWeb上での設問内容は、都合により変更になる可能性があることをあらかじめご了承ください。

【A-1】施設大分類（単一回答）

(01)	一般病院Ⅰ（特定機能病院）	(02)	一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）
(03)	一般病院Ⅲ（機能指定無し）	(04)	精神科病院
(05)	療養所（一般）	(06)	療養所（結核）
(07)	診療所（有床）	(08)	診療所（無床）
(09)	検診センター	(10)	健診センター
(11)	歯科（病院）	(12)	歯科診療所
(13)	研究所	(14)	保健所
(15)	血液センター	(16)	学校
(17)	衛生検査所	(18)	製薬会社
(19)	医療機器会社	(20)	その他

【A-2】：A-1で「20. その他」を選択した方は、詳細を入力してください（テキスト入力）

【B】実務実施状況（単一回答）

(01)	全て自施設で実施
(02)	主として自施設 + 一部ランチ
(03)	主として自施設 + 一部 FMS
(04)	主として自施設 + 一部ランチ・FMS
(05)	主として自施設 + 一部外注
(06)	全てランチ検査室で実施
(07)	全て FMS 方式検査室で実施
(08)	ランチ方式 + 一部自施設
(09)	FMS 方式 + 一部自施設
(10)	ランチ + FMS + 一部自施設
(11)	外注 + 一部自施設
(12)	外注
(13)	その他（検査実施なし）

※ FMS : Facilities Management System

【C】設置母体（単一回答）

(01)	文部科学省Ⅰ（大学）	(02)	文部科学省Ⅱ（その他）
(03)	厚生労働省Ⅰ（大学）	(04)	厚生労働省Ⅱ（その他）
(05)	労働者健康安全機構	(06)	その他の省庁
(07)	都道府県	(08)	市町村
(09)	医師会	(10)	日赤（赤十字）
(11)	済生会	(12)	北海道社会事業協会
(13)	厚生連	(14)	国民健康保険団体連合会
(15)	JCHO	(16)	健康保険組合及びその連合会
(17)	共済組合及びその連合会	(18)	国民健康保険組合
(19)	公益法人	(20)	医療法人
(21)	学校法人	(22)	民間企業
(23)	その他の法人	(24)	個人
(25)	旧三公社		

【D】施設所在地都道府県

（自動掲示、修正可能）

【E】稼働病床数（単一回答）※病床数は、許可病床数ではなく一般病床数で回答してください。

1. 0床
2. 1～19床
3. 20～99床
4. 100～199床
5. 200～399床
6. 400～599床
7. 600～床

【F】臨床（衛生）検査技師数

施設内の全臨床（衛生）検査技師数（ア）		名
	日本臨床衛生検査技師会	正規職員 名
	会 員（イ）	非正規職員 名
	日本臨床衛生検査技師会	正規職員 名
	非会員（ウ）	非正規職員 名

※（ア）＝（イ）＋（ウ）となるように記入してください。

【G】臨床（衛生）検査技師数の内訳①

(工) 正職員	(才) 男性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
	(力) 女性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
(キ) 非正規職員	(ク) 男性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
	(ケ) 女性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名

※ (工) = (才) + (力) となるように記載してください。

※ (キ) = (ク) + (ケ) となるように記載してください。

【H】臨床（衛生）検査技師数の内訳①（単一回答） ※対象は【A】施設大分類：(01)～(08)

(01)	大学病院本院群
(02)	DPC 特定病院群
(03)	DPC 標準病院群
(04)	出来高算定病院
(05)	その他

※ DPC：Diagnosis Procedure Combination（包括医療費支払い制度）

I 貴施設における臨床（衛生）検査技師の労働条件について

【問1】貴施設の定年制度（役職定年は除く）は何歳ですか。（単一回答）

1. 58 歳未満
2. 60 歳
3. 60-62 歳
4. 63-65 歳
5. 66-67 歳
6. 定年制度がない

【問2】定年後の再任用制度はありますか。（単一回答）

1. ある
2. ない

【問2-1】問2で「1. ある」と回答された方に質問です。

1. 再任用に対し、欠員補充がある
2. 再任用に対し、欠員補充がない

【問3】貴施設には産休、育休・介護休暇など支援体制整っていますか。（単一回答）

1. 施設、部署ともに支援体制が整っている
2. 制度はあるが、部署として支援体制が整っていない
3. 制度そのものが整っていない
4. その他

【問3-1】問3で「1. 施設、部署ともに支援体制が整っている」と回答された方に質問です。
勤務施設に臨床（衛生）検査技師が活用できる育児支援はありますか。（複数回答）

1. 施設内に利用できる育児施設がある
2. 外部育児施設を斡旋してくれる
3. 育児に対する時短勤務制度が利用できる
4. 育児に対する時間外勤務（当直など）への配慮がある
5. 特に、育児支援制度が整っていない

Ⅱ 学会・研修会への参加に係る費用の支援等について

【問4】学会・研修会等の参加に係る費用（参加費、交通費、宿泊等）は施設で負担してもらえますか。（単一回答）

1. 申請すれば、基本的に全額支援してもらえる
2. 部分的に支援してもらえる
3. 職場からの指示、演題発表など条件付きで支援してもらえる
4. 基本的に参加に係る費用の支援はない

【問5】各種認定の取得・更新に係る費用は施設で負担してもらえますか。（単一回答）

1. 申請すれば、基本的に全額支援してもらえる
2. 部分的に支援してもらえる
3. 施設からの指示、演題発表など条件付きで支援してもらえる
4. 基本的に参加に係る費用の支援はない

【問6】各種資格・認定を取得するメリットについて、どう考えていますか。（複数回答）

1. 自己キャリアプランの目標として必要である
2. 認定（資格）の取得に向けて勉強している
3. 2種類以上の認定（資格）を取得している
4. 診療報酬点数の要件として活用すべきである
5. 特に、認定（資格）の取得は考えていない

Ⅲ 貴施設における採血及び検体採取業務の実施状況について

【問 7】貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。（複数回答可） ※対象は A 施設大分類(O1)～(O7)

1. 外来患者（一部を含む）を実施している
2. 病棟患者（一部を含む）を実施している
3. 実施していない
4. 該当なし

【問 7-1】問 7 で「1. 外来患者（一部を含む）を実施している」と回答された方に質問です。採血に従事する臨床検査技師の業務配分はどうですか。（複数回答可）

1. 臨床検査技師のみで実施している
2. 採血専任の看護師が 1 名以上配置されている
3. 時間帯により、外来看護師等の支援を受けている
4. 採血業務の 8 割以上を臨床検査技師が実施している
5. 採血業務の 8 割以上を看護師が実施し、臨床検査技師が支援している
6. 採血専任（再任用職員など）の臨床検査技師が配置されている

【問 7-2】問 7 で「2. 病棟患者（一部を含む）を実施している」と回答された方に質問です。どのようなタイミングで病棟採血を実施していますか。（複数回答可）

1. 早朝採血
2. 日中（随時依頼採血を含む）の採血
3. 検体不備による取り直し採血
4. その他

【問 8】貴施設において臨床検査技師が以下の検体採取（5 行為）を実施していますか。（複数回答可） ※対象は A 施設大分類(O1)～(O8)

1. 咽頭・鼻腔ぬぐい液の採取を実施している
2. 表皮並びに体表及び口腔粘膜の採取を実施している
3. 皮膚並びに体表及び口腔の病変部の膿の採取を実施している
4. 鱗屑、痂皮その他の体表の付着物の採取を実施している
5. 綿棒を用いて肛門から便の採取を実施している
6. 上記 1～5 の検体採取（5 行為）の業務は実施していない

【問 9】貴施設スタッフ「臨床検査技師」は「タスクシフト指定講習会」を受講していますか。
(単一回答)

1. 全員が受講済みである
2. スタッフの 7 割以上が受講済みである
3. スタッフの 5 割以上が受講済みである
4. スタッフの 3 割以上である
5. スタッフの 2 割以下である
6. 受講済みのスタッフはいない
7. タスクシフト指定講習会の開催を知らなかった
8. 該当なし

【問 9-1】問 9 で選択肢 1～5 (受講者がいる施設) に回答された方に質問です。受講料は施設が負担しましたか。(単一回答)

1. 施設が負担した
2. 受講者自身が負担した
3. その他

Ⅳ 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアについて

【問 10】「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアを推進する検討会」において、現行制度下で実施可能な業務と整理された以下の 14 行為において、現時点（回答時点）で行っている項目を全て選んでください。(複数回答可) ※対象は A 施設大分類(O1)～(12)

1. 心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲性を伴わない検査装置の操作
2. 負荷心電図等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認
3. 持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定
4. 生理検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引
5. 検査にかかる薬剤（尿素、気管支拡張剤など）を準備して患者に服用してもらう行為
6. 病棟・外来における採血業務
7. 血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作
8. 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領
9. 救急救命処置の場における補助行為の実施
10. 細胞診や超音波検査等の検査所見の記載
11. 生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成
12. 病理診断における手術検体等の切り出し
13. 画像解析システムの操作等
14. 病理解剖
15. 現時点では、上記行為について実施していない

【問 11】臨床検査技師等に関する法令等の改正で追加された以下の 10 行為において、現時点（回答時点）で行っている項目を全て選んでください。（複数回答可） ※対象は A 施設大分類 (01)~(12)

1. 医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
2. 内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
3. 運動誘発電位検査
4. 体性感覚誘発電位検査
5. 持続皮下グルコース（CGM）検査
6. 直腸肛門機能検査
7. 採血のため静脈を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン化生食など充填する行為
8. 採血のため静脈を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為（電解質輸液の点滴）
9. 採血のため静脈を確保し、血液成分採血装置に接続、機器操作、抜針及び止血する行為
10. 静脈を確保し、超音波検査のための造影剤の投与、抜針及び止血する行為
11. 現時点では、上記行為について実施していない

【問 12】医師の働き方改革を進めるための「医師労働時間短縮計画」の策定に向けた院内における会議の開催状況はどうか。（複数回答可） ※対象は A 施設大分類 (01)~(12)

1. 開催された
2. 臨床検査技師が会議のメンバーとなっている
3. 短縮計画策定に向けて、検査部に相談があった
4. 現時点で、検査部に相談はない

V 業務認証、身分確立等について

当会は、患者の安心・安全のため、そして臨床検査技師の職域を守るため、現場実態に即した法の整備や政策の実現に向けた取り組みを行っております。現在、まだ多くの業務において臨床検査技師が法的に実施してよい内容なのか不安になりながら業務を全うしている実態があると考えており実態の把握が必要です。法的に実施可能か否か明確ではないものの、臨床検査技師が担うことで本当に国民のためになると感じている行為を教えてください。

【問 13】現在、臨床検査技師が法的に実施できないと考えるものの、できるようになることで国民のためになると考える行為はありますか。（自由回答）

臨床検査技師への期待は、いまや医療分野にとどまらず、介護・福祉分野などにも広がっています。現在の臨床検査業務以外も含め、臨床検査技師が担うことで真に国民の利益につながると感じる行為について教えてください。

- ・内視鏡関連業務：粘膜切除術の介助 等
- ・心臓カテーテル検査：カテーテルアブレーションの介助 等

VI 貴施設における医療安全体制について

【問 14】貴施設において、医療安全室に配属の臨床検査技師、室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師はいますか。（単一回答）※対象は【A】施設大分類：(O1)～(12)

1. 医療安全室に配属の臨床検査技師がいる
2. 医療安全室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師がいる
3. どちらもいない

【問 14-1】問 14 で「2. 医療安全室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師がいる」と回答した施設への更問。施設側の要請かどうか。（単一回答）

1. 施設側の要請により資格取得に至った
2. その他理由で資格取得に至った

Ⅶ 貴施設（部署）における臨地実習の受け入れ体制について

【問 15】貴施設における現状として、臨地実習の学生を受け入れていますか。（単一回答）※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

【問 15-1】問 15 で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。受入の状況はどうですか。（単一回答）

1. 自施設の附属養成校など特定の養成施設からのみ受け入れている
2. 依頼のあった養成施設を対象に受け入れている

【問 15-2】問 15 で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。昨年度の臨地実習の受け入れ期間と人数をすべて教えてください。（複数回答可）

受け入れ期間	人数
1 週間未満	名
1 週間以上 2 週間未満	名
2 週間以上 1 か月未満	名
1 か月以上 2 か月未満	名
2 か月以上 3 か月未満	名
3 か月以上 4 か月未満	名
4 か月以上	名

【問 15-3】問 15 で「2. 受け入れていない」と回答された方に質問です。今後の臨地実習の学生の受け入れについて教えてください。（単一回答）

1. 臨地実習生の受け入れ準備を進めている
2. 臨地実習生を受け入れる予定はない
3. わからない

【問 15-4】問 15 で「2. 受け入れていない」と回答された方に伺います。臨地実習を「今後も受け入れる予定はない」理由に最も近いものを選んでください（単一回答）

1. 業務繁忙などにより人力的余裕がない
2. 受け入れ体制が未整備
3. 教育体制が確保できない
4. 教育の必要性を感じていない
5. 過去に問題があったため
6. その他（自由記述）

【問15-5】問15-4で「6. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

Ⅷ 臨床（衛生）検査技師の人員確保（需要と供給）について

【問16】病院として、今後の検査室運営を人員配置の観点からお聞きます。（複数回答可）※
対象は A 施設大分類(O1)~(12)

1. 業務の効率化などにより、人員は削減傾向である
2. 業務拡大などにより、人員は増加傾向にある
3. 検体検査のブランチ化が検討されている
4. ブランチラボから、院内運営に移行が検討されている
5. 現時点では大きな変化は見られない

【問17】検査室における最近5年間の人材確保（増員・削減）はどうですか。（複数回答可）※
対象は A 施設大分類(O1)~(12)

1. 業務拡大などに伴い増員された
2. 業務の効率化（機器の導入など）に伴い削減された
3. 退職者の人的補充がない
4. 退職者の再任用は定員内で、あと補充は認められない
5. 産休・育休など欠員の補充（非常勤職員など）が困難
6. 特に大きな変動はない

【問18】求人募集に対する求職希望者の状況はどうですか。（単一回答）※対象は A 施設大分類(O1)~(12)

1. 求人枠に対し、5倍以上の求職希望者があった
2. 求人枠に対し、2倍以上の求職希望者があった
3. 求人枠に対し、求職希望者が枠に満たない場合がある
4. 求人枠に対して、求職希望者がいない場合がある
5. 求人枠に対して、（ここ数年にわたり）求職希望者がいない

Ⅸ デジタル技術導入と生産性向上に関して

【問 19】貴施設の臨床検査部門では、以下のような生産性向上を目的とした設備投資やシステム導入が行われていますか（複数回答可）※対象は A 施設大区分（01）～（12）

1. 検査オートメーションシステムの導入（自動ライン、検体搬送等）
2. AI・画像認識技術を用いた検査支援（細胞診・病理・血液像など）
3. 在宅・遠隔検査への対応技術（モバイル機器、POCT 連携など）
4. ロボットによる検体搬送や検体廃棄の業務省力化
5. 病院としての設備投資はされていない
6. わからない／検査室では把握していない

【問 19-1】問 19 で 1～4 に該当する設備投資があった場合、検査室における今後の生産性向上のための課題について、感じているものをすべて教えてください（複数回答可）※対象は問 19 で 1～4 回答者

1. 人材不足
2. 設備投資のための予算が不足
3. 他部門との連携不足（情報共有、システム連携など）
4. 現場スタッフの IT スキル不足
5. 管理職層の理解や推進意欲の欠如
6. 特に課題はない

以上

お疲れ様でした。大変ありがとうございました。